

人口

労働経済学 2

川田恵介

- 労働問題の重要基盤の一つ
 - 明確な定義に基づく議論の有用性
 - 長期的な変化の可視化手段として、Animation の活用

人口

- 人口構造は、古今・所を問わず大きな関心を集めてきた
- [World Population Prospects](#) (国連 2022)
 - 2023 年にインドは
 - * 人口が世界一
 - * インドの出生率は stable
- ”全ての” 先進国において、少子高齢化が進展
 - 多くの発展途上国も続く

人口統計

- 人口把握は、多くの（古代含む）国家において、中核的関心
 - 近代日本においては、4 年に一度行われる [国勢調査](#)
 - 1920 年より公開されている

長期時系列

- 人口構造の変化は” ゆっくり ” 生じる
- 国勢調査より、多くの時点が観察可能

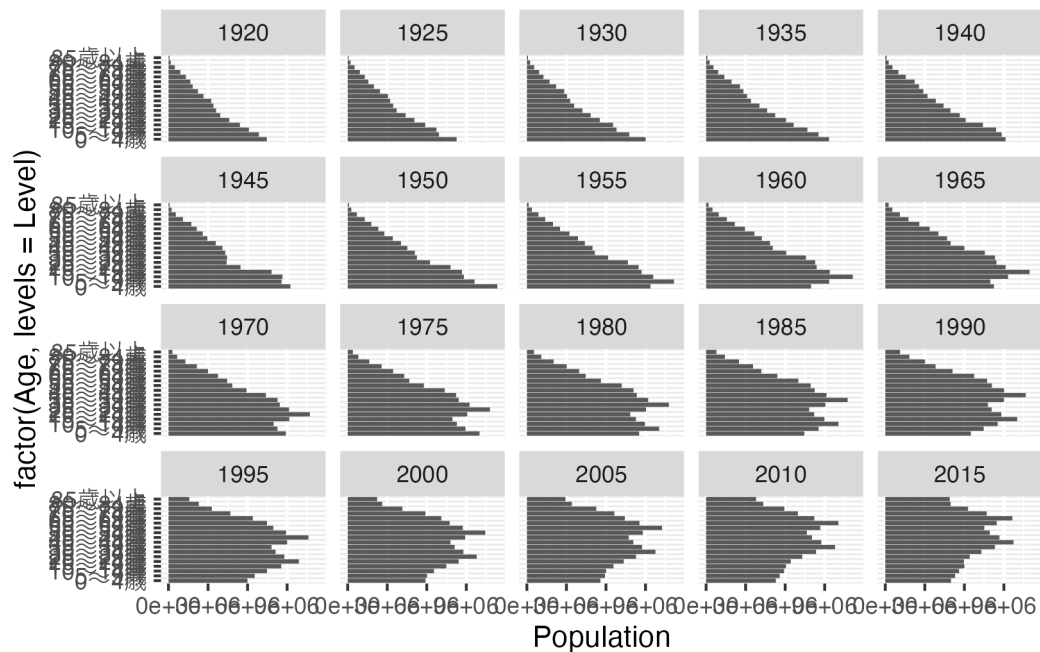
– 微妙に変化する大量の図が生成され、読みにくい

- アニメーションの活用が一案

– R では簡単に作れる

– 人間の認知機能とマッチ

人口推移



人口推移

少子高齢化問題

- 年齢グループの分類

– 生産年齢人口: 15~64 才

– ~15 才, 65 才~: 従属人口

* “一般に” 稼得手段を生産年齢人口に” 依存”

- 少子高齢化問題の典型的論点

– 2025 年問題: 団塊の世代が後期高齢者

– かつてないほど、相対的に少ない生産年齢人口で、相対的に大きな従属人口を支える必要がある?

－ 出生率の改善が重要？

イメージ



(a) ElderCar

Figure1: Elder

イメージ

人口比率

従属人口比率

- 従属人口/生産年齢人口

Dependency plot

- 従属年齢人口/生産年齢人口

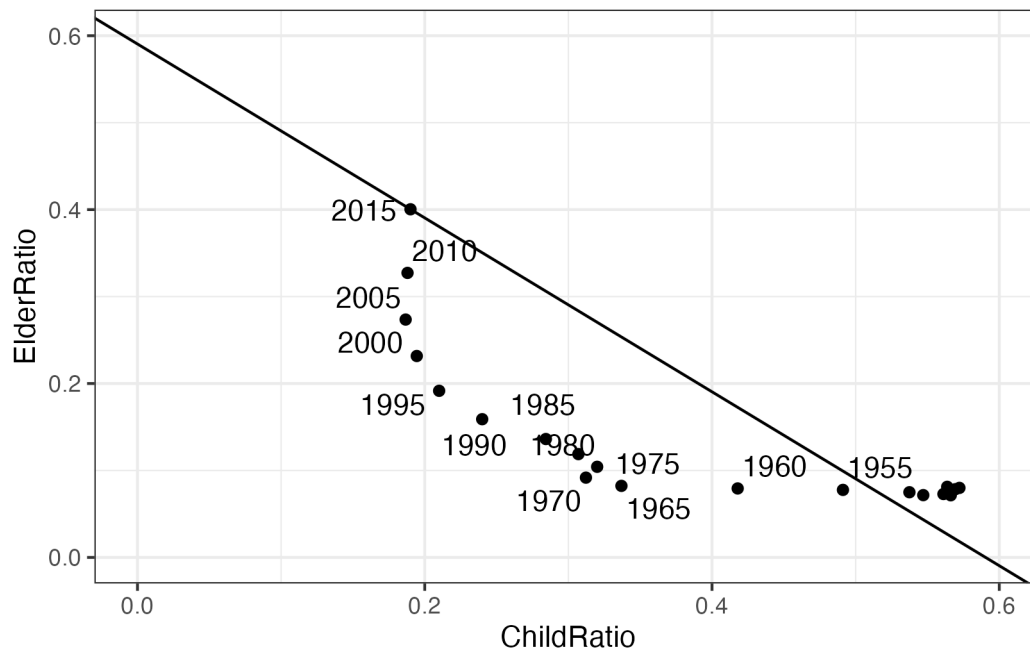


(a) ElderCar



(b) BabyCar

Figure2: Elder & Baby

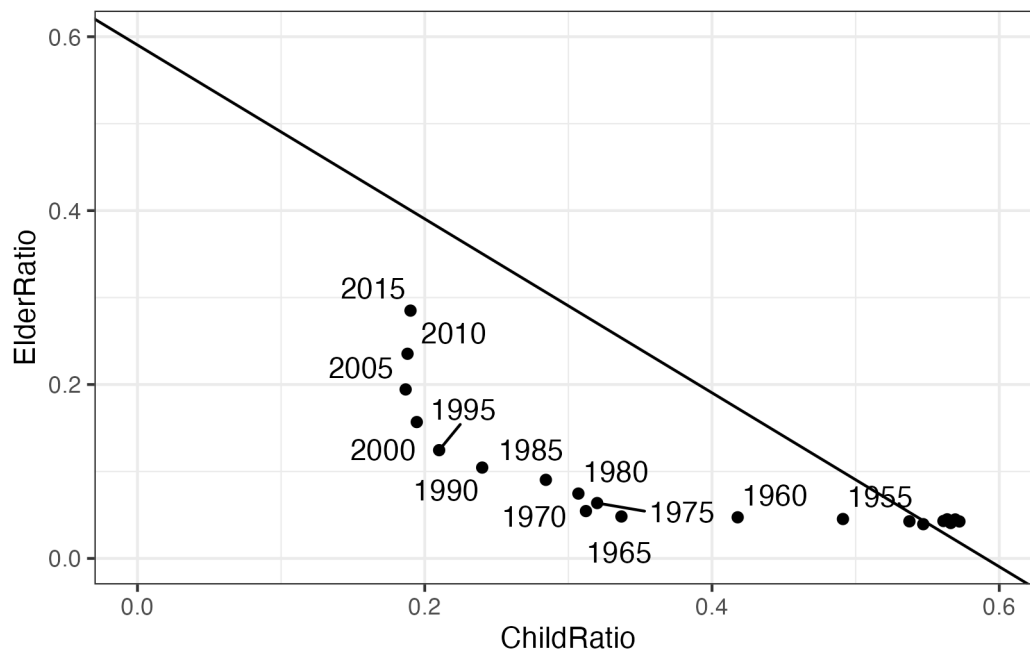


少子化対策

- 育児手当、保育園・幼稚園の充実等々
 - 将来への投資・育児負担の軽減（公平性）などなど
- 2025 年問題への対策となる？
 - 従属人口比率を上げる

Dependency plot

- 従属年齢人口 (70 才以上)/生産年齢人口



まとめ

- 単純なものでも、明確な定義に基づく指標は有益
 - 議論を整理できる
- 従属人口 -> 高齢者だけでなく、児童も含む